

一般県道 新延植木線(中山・植木工区)
【改築系道路事業】

1.事業概要

1)路線の概要

一般県道新延植木線は、鞍手郡鞍手町の主要地方道直方宗像線を起点とし、直方市の中間宮田線を終点とする延長約4kmの幹線道路である。

本路線は、九州縦貫自動車道鞍手ICへのアクセス道路である一般県道直方鞍手線と接続し、地域の産業・経済活動や住民生活を支える県道である。

2)事業の必要性

①本事業箇所が位置する直方・鞍手地区では、鞍手ICが近接する立地条件を活かし、県において当地区に自動車関連産業や次世代データセンター誘致の受け皿となる工業用地造成事業を進めており、直方市及び鞍手町は新たな企業進出による地域の産業振興と経済発展に期待しているところである。そのため、両市町からは造成事業の早期整備と合わせて、企業進出後の交通量増加や通行車両の大型化に対応した周辺道路の整備についても県に対して要望がなされている。

②植木地区には、九州縦貫自動車道直方PA付近の高速バス停やJR筑豊本線の筑前植木駅があり、両施設は福岡・北九州方面へ移動する交通拠点としての役割を担っているため、当該地区ではこれらの公共交通機関までのアクセス強化が求められている。

3)事業により期待される効果

①地域づくりの支援(産業活動の支援)

本事業の整備により、新たな産業団地から鞍手ICへのアクセス向上が図られ、物流の効率化、企業誘致促進や雇用の拡大等、地域の産業振興を支援する。

【直方・鞍手工業用地～鞍手ICまでのピーク時の所要時間:約2分短縮】

②交通機能の強化(都市交通の円滑化)

本事業の整備により、高速バス停や鉄道駅へのアクセス改善が図られ、都市間移動の速達性向上や地域間連携の強化が期待されるなど、都市交通の円滑化に寄与する。

③安全・安心の確保(道路利用者の安全確保)

本事業の整備により、通過する車両の走行性が向上し、また、自転車・歩行者の幅員が確保されることから、道路利用者の安全でかつ快適な利用が可能となる。

【現道の道路線形不良箇所:8箇所⇒解消】

2.現在の状況

現況幅員: W=5.5(6.9)m

現況交通量(車線数): 1,942台/日(2車線)(大型車混入率6.3%)【R4.9実測】

3.計画内容

箇所名: 福岡県鞍手郡鞍手町中山～福岡県直方市植木

道路区分・設計速度: 第3種第2級 V=50km/h

延長・幅員: L=1.1km W=6.5(12.0)m

全体事業費: C=1,600百万円

事業着手年度: 令和5年度

事業完成予定年度: 令和12年度

計画交通量(車線数): 4,600台/日(2車線)(R22推計)

費用便益比(B/C): 1.14

4.その他特記事項

陳情書・要望書: 令和4年11月14日 要望書 直方市長・鞍手町長から提出

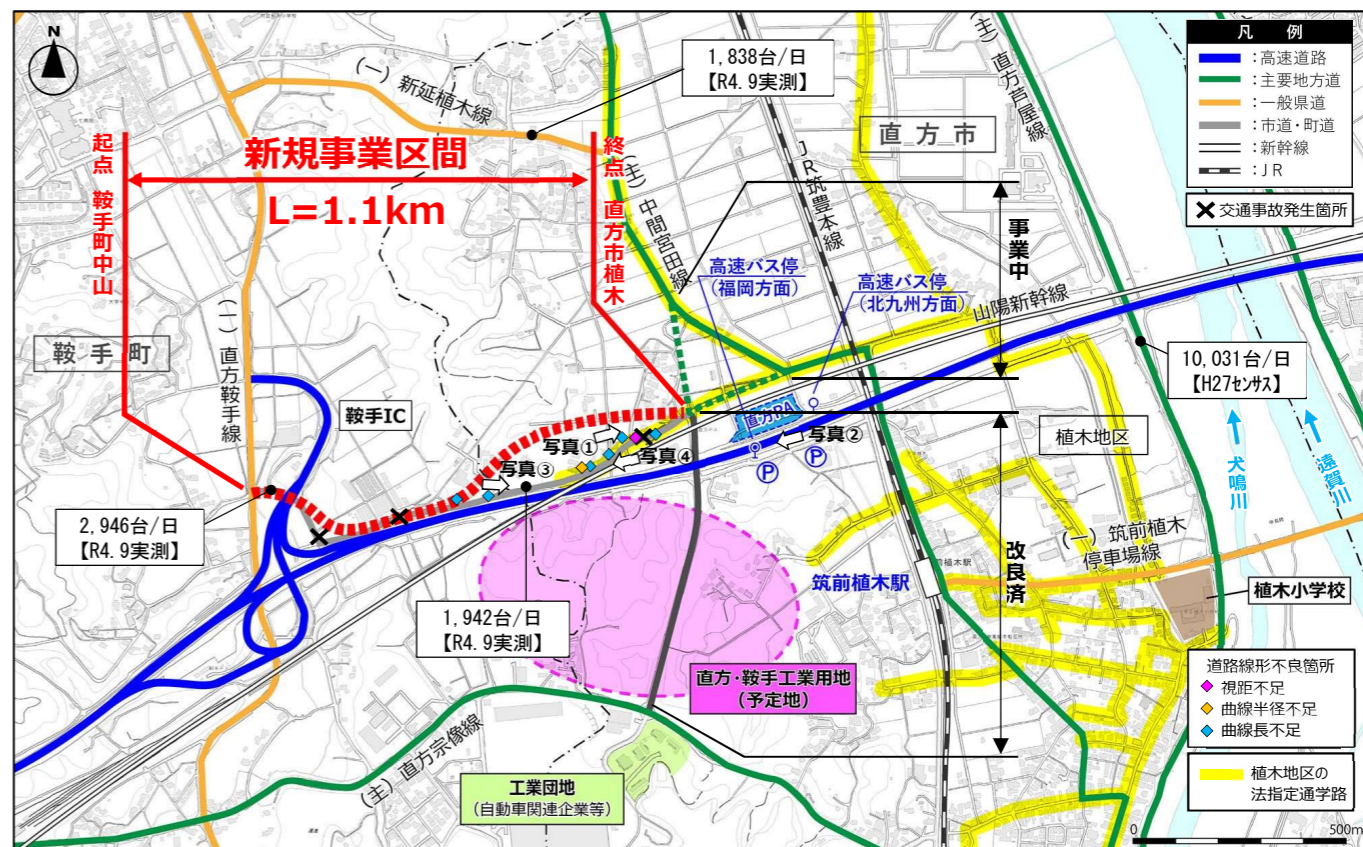
【位置図】



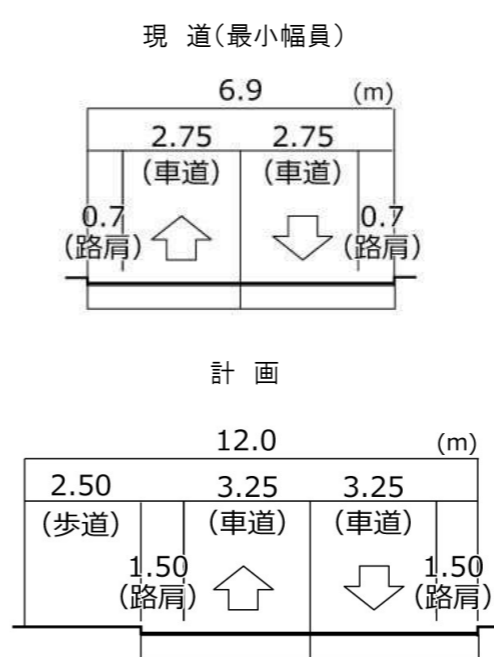
【平面図】



【路線図】



【横断面】



【現況写真】



写真①: 現道の状況(見通しの悪い箇所)

写真②: 高速バス利用状況(福岡方面)

写真③: 自転車の通行状況

写真④: 歩行者の通行状況